

# 日中国交正常化50周年記念 特別デジタル展「故宮の世界」

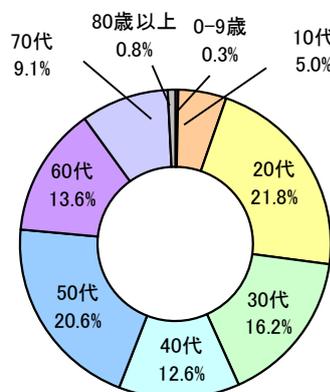
## アンケート集計結果

開催期間：令和4年7月26日（火）～9月19日（月祝）（50日）

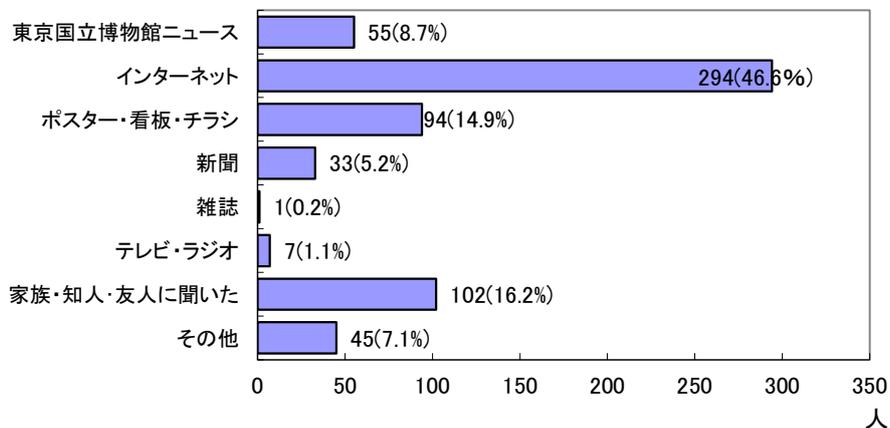
総入館者数：27,839人

回答者数：625人

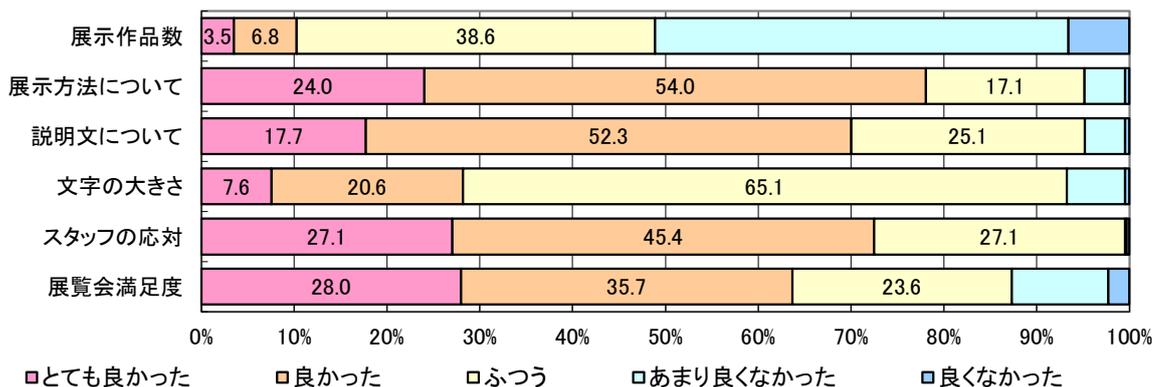
### ①アンケート回答年齢層



### ②認知経路（複数回答）



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・デジタルで作品の細部まで見ることができてよかった。
- ・映像が綺麗だった。
- ・新しい試みで興味深かった。他にもデジタル展示をやってほしい。
- ・展示作品数が少ないので、物足りなく感じた。
- ・もっと実物展示を充実させてほしい。
- ・展示室が暗く、足元が見えない。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	44.5	6.6
展示方法	4.4	0.5
説明文	4.3	0.5
文字サイズ	6.3	0.5
スタッフの対応	0.2	0.3
展覧会の満足度	10.5	2.3

(%)

中国の首都北京の中心に位置する故宮博物院は、往時の姿を伝える壮麗な建築群を有し、186万件以上のすぐれた美術品を所蔵する博物館です。かつては紫禁城と呼ばれ、明・清の両王朝で、歴代皇帝が国を治める拠点として造営された壮麗な宮殿でもありました。日中国交正常化50周年の節目の年となる2022年、東京国立博物館と故宮博物院が、両者と10年以上にわたり文化資産のデジタル化に関する研究を行ってきた凸版印刷と、紫禁城をテーマにした特別デジタル展を共同で開催いたしました。

本展では、VR（バーチャル・リアリティ）によって再現された清王朝最盛期の紫禁城、高精細3D（三次元）データを用いた工芸品のデジタル鑑賞、超大画面シアターに投影された青緑山水の傑作「千里江山図巻」の画中への旅行体験など、最先端のデジタル技術による展示を通じて、中国美術の奥深さを紹介しました。さらに、東京国立博物館が所蔵・管理するコレクションの中から、歴代皇帝や宮廷にゆかりのある文化財を展示しました。

本展を観覧しアンケートに答えた63.7%のお客様から、「とても良かった」「良かった」との好意的なご意見が寄せられました。映像の美しさや、デジタル技術により、作品の細部までじっくりと鑑賞できた点に対して、好意的な評価をいただきました。また、本展では、特別展としては比較的多くの20代のお客様にご来場いただきました。

一方で、「展示作品数が少ない」「もっと実物展示を充実させてほしい」等のご意見も寄せられました。また、「展示室が暗く、足元が見えない」等のご意見もいただきました。今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。